

### 子どもたちの学習支援活動

# より一層の充実にむけて

理事 - 中沢 保夫

日本の未来を託す子どもたちの教育について、昨今良く論議されています。9月16日に発足した新内閣は政権の重要課題の一つとして「教育の再生」を宣言しました。29日の安倍首相所信表明の骨子は、皆さまご承知の通り「美しい日本」を目指すという言葉から始まりました。

また2016年のオリンピック招致をめざす東京都知事はテレビで「若い人たちに元気を出していただく大きなきっかけとしたい」さらに「日本人が国際人としての立派なマナーをしつかりと身につけることにつなげたい」と語っています。

私たちの足元に目を向けると、地元神戸市で、わずかでも子どもたちや先生のお役に立とうと、控えめにスタートしたグループわの学習支援活動は2年目に入りました。支援者のみなさま方のご努力や関係者のご協力により合計25校(昨年度比7校増)で学習支援が続けられています。

#### (1) 推進委員会発足(8月1日)

これから要請校増が予測されるほか、支援内容が多岐にわたってくる。また子ども登録者側体制の一層の充実に向けて、当委員会をスタートさせました。現在のメンバーは次の12名の方々です。

#### アドバイザー

- K S C 総務課長 藤原 博史
- グループわ 理事長 郷 肥三
- 委員長 中沢 保夫
- 副委員長 井上 堅
- 委員 高橋 孝男 加藤 勇治
- 神林 幹夫 小林 勝
- 土井 清二 長谷川雅江
- 宮崎 芳江 渡辺 寛治

#### (2) 平成18年第2回登録者の集い

(8月22日開催)

郷理事長よりお礼、さらに充実した活動をお願いしたいと挨拶  
KSC 藤原課長より激励の挨拶  
今回はじめての試みとして6組に分かれてグループディスカッションを行い、多くの活発な発言がありました。

#### A. 学習支援活動現場でのこと

支援活動の入り方に戸惑いがある  
学習支援者の踏み込む範囲が難しい  
活動後に先生と支援者間で話し合いの場がほしい  
学校側の急な予定変更で困った

#### B. 学習支援活動側(わと登録者)のこと

グループディスカッションのような勉強の機会をもっと準備してほしい  
障害児教育の専門知識が必要  
小学校以外に地域センターなどで活動してはどうか  
など貴重な意見、提案があり、これからの集いの開催にあたって参考にしたいと考えています。

#### 学習支援ボランティアに参加して

一般 - 福家 博子



学習支援ボランティアに参加することになり、学習現場で少しでも役に立てればと思いましたが、子どもたちの無邪気で明るい笑顔に接し、元気をもらっているのは私の方だと実感している。ただ真剣な学習の場で、担任の指導や指示に遅れがちな子どもに付き添って、補助するのは、大変神経の疲れることでもある。

現在、2年生の支援に入っているが、学習習慣が身につけている子どもと、そうでない子どもの差ができてくるので、そっと付き添い算数の操作活動や計算を見守り助言する。国語では漢字の書き順や字形など、助言し見守ることで、美しい文字への関心が生まれ学習への自信と喜びにつながる。

基礎的な学習を身につける時期に、家庭の励ましや応援を望めない子どももたくさんいる。学級の中では、そんな児童こそ学ぶ喜びが大きい。そっと支援することで、勉強が面白いと思ってくれば、学習支援ボランティアの意義がある。

また給食や清掃指導にも参加させてもらっている。担任の先生の負担が少しでも軽くと思っているが、私にとってこの時、全児童とより親しくかわる喜びがあり、楽しい時間である。



第2回学習支援登録者の集い

### 子どもたちの学習支援活動

## 平成18年度第3回登録者の集い開催のご案内

- 日時 : 平成18年12月5日(火) 13:30~15:30
- 場所 : 神戸市シルバーカレッジ 2F 学習室1~4
- 主な議題 : (1) 研修 : 障害児教育について  
神戸市立福住小学校々長 松本 容子先生
- (2) グループディスカッション  
前回のグループディスカッションをより充実した形で、時間は70分間位に長くしたいと検討中です。

登録者のみならず一般のグループわ会員のご出席もお願いします。